国鉄改革完遂!

当たり前の労働運動を前進させよう!

JR 東海労に

結集しよう!

J R

東海労



JR東海労働組合静岡地方本部 〒420-0851

静岡市葵区黒金町 68 番地

NTT 054-284-3608

発行責任者 : 半場弘恭

2024年 11月5日 No.10

袴田巖さんの再審完全無罪報告集会開催

一切の冤罪を許さない!

再審法改正・司法制度改正のために闘おう!



地本は、10月29日 浜松市市民協働センタ ーにおいて「袴田巖さ んの完全無罪報告集 会」を開催しました。集

会には、来賓として本部成田副委員長、地本鈴木 OB 副会長、浜松 袴田巖さんを救う市民の会寺澤紘暢共同代表、平野謙沼津市議が 参加し、各地本代表者も参加しました。





集会の冒頭あいさつに立った半場

委員長は「この間の地道な取り組みが世の中を変えてきた。

普通の市民が冤罪に巻き込まれる。袴田さんの無罪確定は、

⇐ 袴田さんの無罪確定のお祝い 福井女子高生殺人事件の前川

さんの裁判のやり直し決定の力となった。袴田さんは無罪が確定するまで58年がかかった。

人生が台無しとなった。平和・人権・民主主義を守るために冤罪撲滅、再審法改正の取り組みをさらに強化しよう」と地本の闘いの成果と今後の取り組みを提起しました。



来賓の中央本部成田副委員長は「昨年の袴田巖さんの完全無罪を求める 10.29 集会から1年が経った。無罪が確定し良かった。横断幕の文字は袴田さん 無罪を勝ち取る闘いを物語っている。罪のない人が死刑になっても罪が問われない社会だ。真実を追及し、社会正義を貫く闘いをした。浦和電車区事件や蒲郡駅 事件はデッチ上げだ。それは会社の組合潰しの攻撃があったからだ。労働組合は 会社に忖度しない。自立したものでなければならない。今後も市民運動と連帯を 広げていく」とあいさつがありました。

中央本部成田副委員長

浜松袴田巖さんを救う市民の会寺澤共同代表からは、袴田さんの自宅に無罪確定のお祝いに行った時の動画を映し、「判決文は、犯行着衣とする履けないズボンを履けるとしている。弁護士の複数犯の犯行については、怨恨者でない単独犯で4人をくり小刀で殺したとしている。弁護側の主張を認めていない。死刑判決とした警察・検察・裁判官は責任を取るべきだ。犯行経路で線路を渡り防護柵を跨いだとする検察の主張に対し、JR 東海労の皆さんの協力により線路を渡る犯行経路はありえないと弁護することができた」と感謝のあいさつがありました。



寺澤共同代表



平野謙沼津市議

平野謙沼津市議は「無罪確定でよかった。10 年前に検察が断念していれば、裁判が長引かなかった。安倍政権により司法がゆがめられた。検察・警察は誤りを認めたがらない。政治の力で膿を出していかなければならない。正義と人権、そして平和を守る取り組みをしていく。再審法の改正をしなければ、えん罪が生まれてしまう」と再審法改正を訴えました。

つづいて、メッセージの紹介、「再審無罪判決・控訴断念についての報告」

「基調報告」「集会アピール」を読み上げ集会を閉会しました。



上の横断幕は、地本特別執行委員の渥美弘さん直筆です。また、判決当日準備した渥美さんの作成した 横断幕は海を越え「フランス24」の番組において、JR 東海労の参加者 21 人と共に写真が紹介されました。